デフアスリートを
ささえる

競技別手話言語通訳ガイド
[ゴルフ編] Golf

目 次

P.1	目次
P.2	ごあいさつ
P.3	デフリンピックが日本で開催
P.4	スポーツ分野で通訳するための準備
P.5	ろう者とゴルフ
P.6	主な大会
P.7～16	ゴルフの基礎知識
P.17～18	デフゴルフにおける手話言語通訳者の役割
P.19～22	ゴルフ用語の手話表現

ごあいさつ

全日本ろうあ連盟
スポーツ委員会 委員長
太田 陽介

スポーツ庁は「する・みる・ささえる」といった多様なスポーツライフを通じて、スポーツ参画人口の拡大を目指しています。アスリートのプレーを「みる」、ボランティアの「ささえる」活動を通して、「する」スポーツへの興味が喚起され行動へとつながることが期待されており、きこえない、きこえにくい人のスポーツ活動を通した社会参加と共生社会の実現にも通じる取組になります。

2025 年に東京・福島・静岡で開催されるデフリンピック（主催 / 国際ろう者スポーツ委員会（ICSD））は、日本では初めての開催であり、また 1924 年にパリで最初のデフリンピックが開催されてから100周年の節目となる大会になります。
この大会の開催を契機に、手話言語の理解・普及・拡大など従来からの情報保障の推進・強化に加え、スポーツ施設や競技大会において、デジタル技術を活用した、新しいコミュニケーションツール等の開発が進んできています。一方で、きこえないアスリート（デフアスリート）がスポーツをするにあたっては、スポーツ関係者によるきこえないことや手話言語への理解促進とともに、デフアスリートのスポーツ活動をささえる手話言語通訳者の育成が重要になっています。

そこで、本委員会では令和２年度より、スポーツに精通した手話言語通訳者の育成を目的として、スポーツ庁の「障害者スポーツ推進プロジェクト」を受託しており、令和６年度は、専門種目としてテニス競技、柔道競技、バドミントン競技、ボウリング競技、ゴルフ競技、ライフル射撃競技を解説するパンフレットを作成しました。

スポーツ活動の現場で通訳を行う方々の知識と技術の向上にこれらの手引きが役立つことを願っています。

デフリンピックが日本で開催

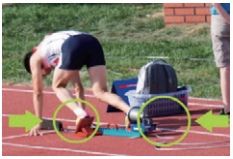
2025年に東京でデフリンピックが開催

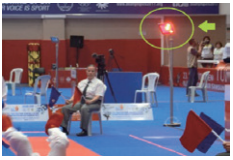
2025年11月15日～26日に東京・福島・静岡でデフリンピックが開催されます。

デフリンピックとは？

きこえない選手の国際的なスポーツ大会です。
デフ（Deaf）とは、英語で「きこえない」という意味です。
オリンピックと同じように４年に１度、夏季大会と冬季大会が２年ごとに交互に開催されます。競技ルールはオリンピックと同じですが、きこえない選手のための視覚的保障がなされた競技環境があることがデフリンピックの特徴です。

視覚的保障とは？





音や審判の合図がきこえないという、選手にとって不利な状況を視覚的に補うことです。
デフリンピックでは、陸上競技や水泳競技のスターターの音はフラッシュランプを使って選手にスタートを知らせています。サッカーやラグビーでは審判が笛を吹くとともに、旗または片手をあげることで反則などが起きたことを選手に知らせます。

国際的なデフスポーツ大会について

きこえない選手の国際的なスポーツ大会には、デフリンピックの他に、国際ろう者スポーツ委員会（ICSD）公認の世界ろう者選手権大会やアジア太平洋ろう者スポーツ連合（APDSC）主催のアジア太平洋ろう者競技大会等があります。

URL：ICSD公式ホームページ http://www.ciss.org

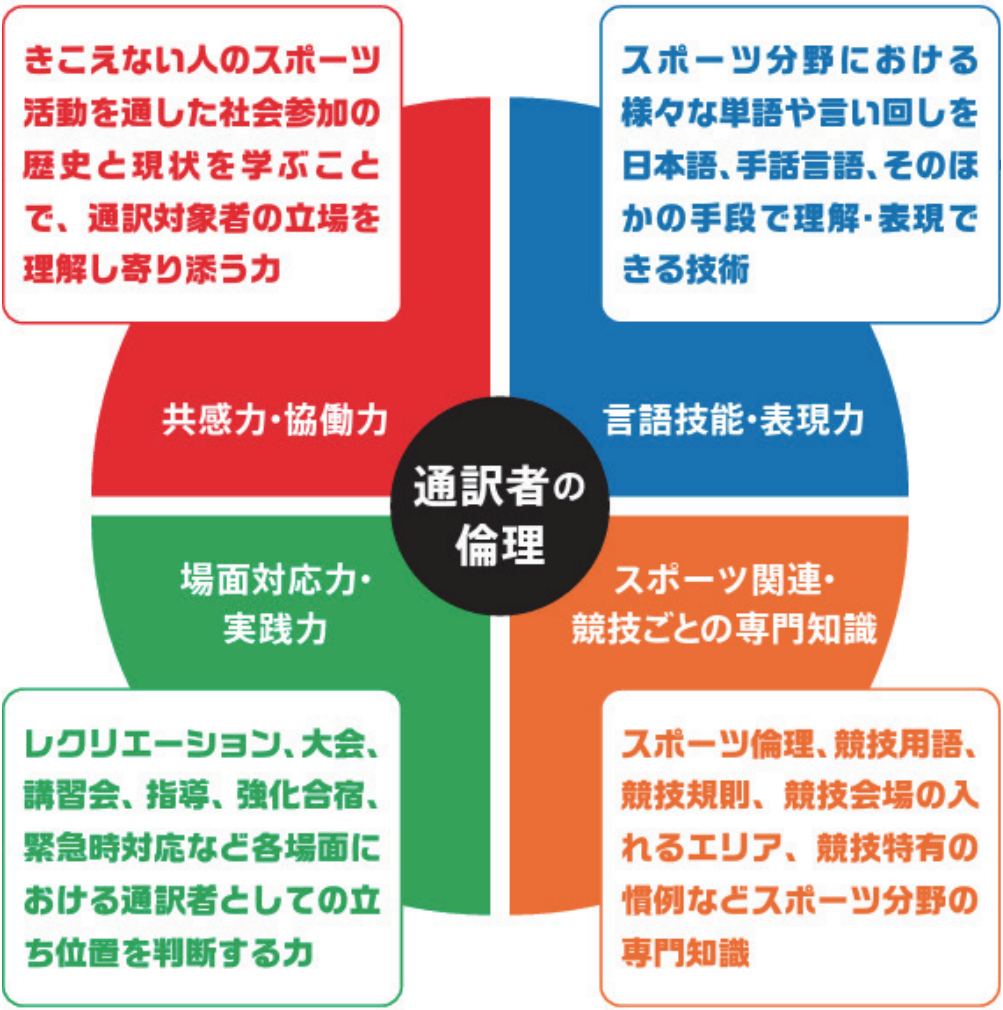
デフスポーツに関する情報

一般財団法人全日本ろうあ連盟スポーツ委員会では、デフスポーツに関する情報発信を行っています。

URL：https://www.jfd.or.jp/sc/

スポーツ分野で通訳するための準備

きこえない人のスポーツ活動を通じた社会参加を支える手話言語通訳者が、通訳者としての倫理観を備えた上で準備しておくべき知識と技術を、「共感力・協働力」「言語技能・表現力」「場面対応力、実践力」「スポーツ関連・競技ごとの専門知識」の４テーマに整理しました。



このガイドブックでは特にゴルフ競技に必要な知識を紹介します。

ろう者とゴルフ

競技ルールは一般と同じでロイヤル・アンド・エンシェント（R&A）と全米ゴルフ協会（USGA）が制定しています。
R&Aはスコットランドのセントアンドルーズに、USGAはニュージャージー州のリバティーコーナーに本拠地を置いています。
デフアスリートが出場するデフリンピック競技大会などの国際大会では国際ろう者スポーツ委員会（以下、「ICSD」）の規定において競技中は補聴器を外すことが定められています。

ゴルフをする時のハンディ

1. 風の音が聞こえない。
2. スイング、ショットの音が聞こえない。
   （ショットの音が８種類あるといわれるが、分からない）
3. 林や池に入った音が聞こえない。
4. 同伴者がきこえる人の場合、コミュニケーションがうまくとれないことがある。
5. ゴルフ場からのお知らせなどのアナウンスが聞こえないため、きこえる人より気が付くのが遅れる。
6. 周りの雑音が聞こえない。
7. グリーンの上でパターを打つとき、音でなく手の感覚を頼りにするため、グリーンの速さはどの位あるか掴みにくい。

主な大会

国内大会

日本国内では、春にデフゴルフオープン、夏（8月頃）に日本デフゴルフ選手権大会、秋に東日本・西日本それぞれでデフゴルフフェスティバルが行われています。

国際大会

2年ごとに世界デフゴルフ選手権、4年ごとに夏季デフリンピック競技大会が行われています。（備考：日本選手団としては東京2025デフリンピックがデフリンピック初参加）

・2022年 第13回 世界デフゴルフ選手権 ハワイ大会
・2024年 第14回 世界デフゴルフ選手権 オーストラリア大会

国際的なデフスポーツ大会での競技種目

デフリンピック：一般男子、一般女子のカテゴリーで個人戦、チーム戦が行われます。

世界デフゴルフ選手権：一般男子、一般女子、シニア男子、シニア女子の各カテゴリーで個人戦と団体戦が行われます。

ゴルフの基礎知識

ゴルフの競技特性

ゴルフは、他のプレイヤーと競うだけでなく、自身のベストスコア、そしてコースや自然とも向き合うスポーツです。

・審判がいないため、自分自身が審判となります。

・コースの長さやレイアウト、球の止まっている場所、気象条件、プレイヤーの精神状態などにより、同じ状況は２度と現れません。

・各ホールには距離に応じて「３打」「４打」「５打」などの規定の打数があり、この打数でカップに入れることを「パー」と呼びます。

・競技ゴルフに参加するには、JGAの発行するオフィシャルハンディキャップ（選手自身のゴルフレベルを観客的に示す指標）の取得が必要です。

ゴルフは、美しい自然の中で仲間と楽しむことができる競技です。
また、一度のラウンドでも数キロは歩くため、良い運動にもなります。
体力的な問題で飛距離に自信がない場合であっても、ティーイングエリアの位置を調整し、ゴルフコース距離の短縮も可能なため、年齢に応じた無理のないプレーができます。

ゴルフのルール

クラブでボールを打ち、18 ホールを回って各ホールのカップに入れるまでの打数の少なさを競うスポーツで、主なルールは以下の通りとなります。

競技の主な方式

ストロークプレー：全てのホールでの合計打数で勝敗を決める。

マッチプレー：各ホールごとに勝敗を決め､その勝ち数の合計で最終的な勝敗を決める。

基本ルール

・ティーショットを除き、ホールから最も遠い位置にあるプレーヤーから順番に打つ。

・OB ラインは、 2本の OB 杭を結んだ線でコースの境界線とされる。

・ボールがOBラインを越えてOBと呼ばれるエリアに入った場合、プレーヤーは元の場所で1打罰を加え打ち直さなければならない。

・コースに持ち運べるクラブの本数は、パターを含めて14本までとなっている。

・最初のホールをホールアウト（プレーを終了）したあとは、そのホールのスコアがその組で最も少ないプレーヤーが次のティーイングエリア（最初の1打を打つエリア）でオナー（最初に打つ人）となる。

※OB（アウトオブバンズ）の略称

ローカルルールについて

ゴルフのルールは、コースの特性や天候状況に合わせて「ローカルルール」が設定されることが多く、ゴルフ場ごとに異なる（プレー前にローカルルールを確認しておく必要があります）。

ゴルフ規則アプリ

R&A公式ゴルフ規則アプリは、ゴルフ規則の全文が掲載されています。
下記のQRコードから無料でダウンロードできます。

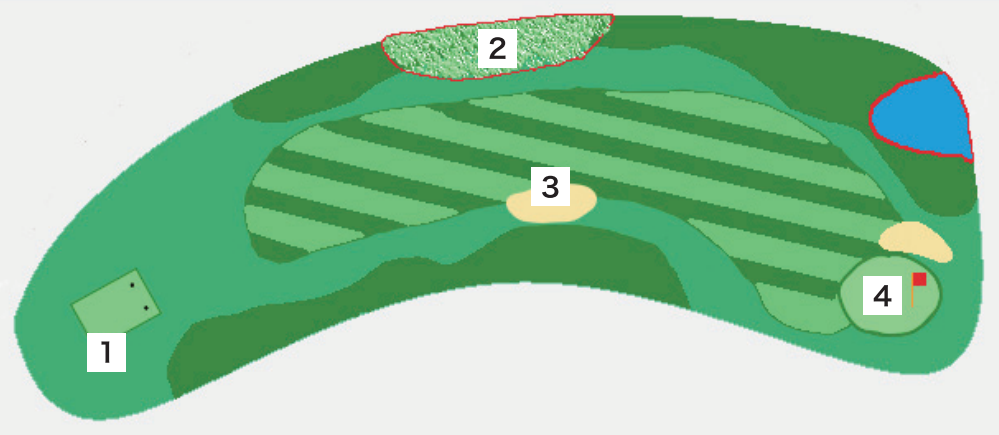
iOS版

Android版

コースの名称

ゴルフコースは、以下の主要なエリアで構成されています。

1. **ティーイングエリア**：各ホールのスタート地点。ボールをティーに乗せて打つエリア。
2. **ペナルティーエリア**：ペナルティーエリアとして定められたエリア。
3. **バンカー**：砂が敷かれた窪地。ボールが入ると出すのが難しいエリア。
4. **パッティンググリーン**：カップ（ホール）がある場所、パッティングのために特別に作られたエリア。
5. **ジェネラルエリア**：コースにおける上記1～4以外のエリア。
   フェアウェイ：コース内で比較的平らで芝が短く、ボールを運びやすい場所。
   ラフ：フェアウェイ以外の芝が長く、ボールが打ちにくい場所。

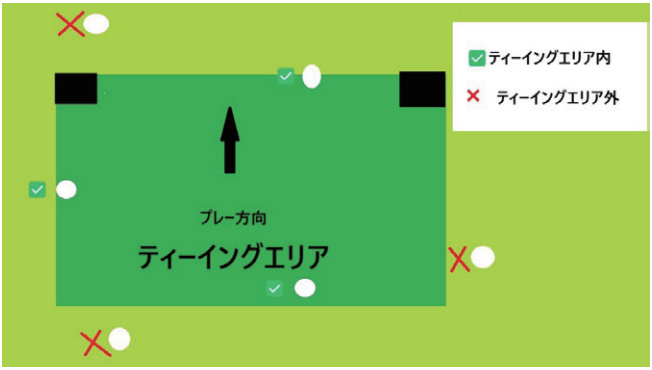


ティーイングエリアの基本

ティーイングエリアとは、最初の1打を打つエリアのことです。
2019年のルール改正で「ティーインググラウンド」から「ティーイングエリア」に名称変更されました。
ティーイングエリアにはマーカーが設置されており、各色で距離の違いを表しています。
ティーイングエリアが色分けされているのは、性別・年齢に関係なく一緒にゴルフを楽しむためです。
距離が遠ければ遠いほど難易度が上がるので、実力に合わせたティーイングエリアの使用でハンデをつけられます。

ティーイングエリアの範囲

設置された２つのティーマークを辺とした長方形で、奥行きは２クラブ分の長さのエリアです。



ティーイングエリアの色

ティーイングエリアの色は基本的に以下の通りに分かれています。
ただし、ゴルフ場によっては色やルールが異なることもあるので、ラウンドする前に公式サイト等で確認しておくといいでしょう。

色	名称	使用者
赤	レディースティ	ジュニア・レディースが使用する。 ゴルフを始めたばかりの初心者男性が使うこともある。
金・銀	フロントティ	飛距離に自信のないシニアが使用する。
白	レギュラーティ	ゴルフ経験者の一般男性が使用する。 飛距離に自信のある女性が使うこともある。
青	バックティ	飛距離に自信のある男性が使用する。 ゴルフ場によっては使用に事前の許可が必要な場合もある。
黒	チャンピオンティ	競技用に使用する。 アマチュアゴルファーが使うことはない。

基本的にラウンド中は同じ色のティーイングエリアを継続して使用します。

競技形式

ゴルフの競技には、大きく分けて個人戦とチーム戦があります。

個人戦

ストロークプレー：全てのホールでの合計打数で勝敗を決めます。

マッチプレー：各ホールごとに勝敗を決め、その勝ち数の合計で最終的な勝敗を決めます。

チーム戦

ベストスコア：チーム全員がそれぞれ自分の球をプレーし、上位３名のスコアの合計によりチーム順位を決定します。

フォアサム：４人が２人ずつのペアとなり、１つのボールを互いに打ち合って競技を進めていきます。

ラウンドの構成

１ラウンドは 18 ホールで構成され、競技会では通常４日間で４ラウンド、合計 72 ホールをプレーします。

ゴルフの服装

ゴルフの服装に規定や罰則はありませんが、推奨されるマナーと避けるべき服装があります。

男性

シャツはポロシャツやタートルネックなど、襟付きのものが基本です。
寒いときはセーターやブルゾン等をポロシャツの上に着ることができます。
当日の天候や気温によって服装を調整します。
パンツは綿パンツやチノパンのロングパンツが基本です。
ジーパンやジャージ、スウェット、作業着などはマナー違反になります。

女性

襟付きシャツにロングパンツなど、基本的には男性と同じです。
女性の場合、シャツの代わりにワンピースを着たり、パンツの代わりにキュロットやスカートを履くことも可能です。
ただし､過度に肌を露出することはマナー違反となります。

ゴルフのプレー中のマナー

プレーファーストを心がける

ゴルフ場は一人だけで使うものではなくみんなで使うものなので、一人ひとりの遅れが全体の遅れにつながってしまいます。
気持ちよくプレーできるように前の組と離されないよう意識して、素早くプレーしましょう。

他の選手がショットを打つときは静かにする

ゴルフは集中力が求められるスポーツなので、他の選手がショットを打つ際は、視界に入らないよに注意するとともに静かにしましょう。

フェアプレーの心構えを持つ

ゴルフは審判がおらず自己申告制で行うスポーツのため、嘘をつかない正直さとルール遵守が大事になります。
ルールをよく覚え、判断に迷ったら、同伴者に相談したり競技委員を呼んで相談するなどして解決し、トラブルを未然に防ぎましょう。

バンカーショットしたあとはきれいにならす

ある選手が打ったボールが、たまたま前打った人の跡に入ってしまうことがあります。
この時、選手は前の人よりも難しい状況でショットを打たなければならなくなります。
トラブルのもとにもなりますので、バンカーショットを行ったあとは、後の人のためにレーキ等できれいにならしましょう。

ゴルフのプレー観戦時のマナー

プレー中は動かない

選手がショットを打つとき、邪魔をしないのがマナーになります。
選手の近くにいる人は、動かず選手の視界に入らないようにしてください。

ボールに触らない

競技に関係ないと思われるボールがゴルフ場内に落ちていても、選手以外は決して触ってはいけません。
仮に競技中のボールが持ち去られた場合、選手は1罰打の上、前のところに戻って打ち直す可能性があります。

ロープ内に入らない

ギャラリーの安全を確保するために張られているものなので、選手以外は立ち入らないようにしましょう。
ロープが張られていない場合は、打球が来ないであろう場所を通るよう心がけてください。

写真撮影時はシャッター音やフラッシュに気をつける

ゴルフ競技では選手のスイングの撮影は禁止されていることが多いです。
許可されている場合でも、スイング中にフラッシュをたかない、シャッター音をたてないなど選手の集中の妨げにならないように心がけてください。
動画モードにしてスイング前に録画開始することが多いです。

観戦時の服装

観戦に服装の規定はなく、襟付きジャケットやポロシャツ等は不要です。
動きやすい服装を推奨しており、シャツとハーフパンツでも大丈夫です。
靴はスニーカーがおすすめですが芝を傷つけてしまうため、ヒールは避けたほうがいいです。
屋外に長時間いますので、天候によって熱中症対策や防寒対策をしてください。

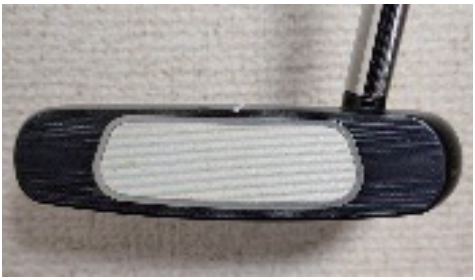
観戦できるエリア

プロの試合はロープ内に入らない範囲で選手と一緒に移動できます。
アマチュアの試合は選手と一緒に移動できません。
ゴルフコースにもよりますが、1,9,10,18ホール（クラブハウス近くのコース）であれば観戦可能なことがあります。

ゴルフ競技用具

ルール上、ゴルフバッグに入れて持ち運べるクラブは、最大14本です。

ゴルフクラブの種類一覧	特徴
 ドライバー	主にティーショットで使います。 一番飛距離を稼げるクラブ ですが、シャフトが長いので芯に 当てるのが難しいクラブです。
 フェアウェイウッド	グリーンまでまだ距離があり 飛距離を稼ぎたいときに使う クラブです。 ドライバーより飛距離は 落ちますがフェアウェイからでも 打てるクラブです。
 アイアン	フェアウェイウッドよりも短く、 グリーン周りまでボールを運ぶ ために使われるのがアイアンです。 選手はフェースの角度が異なる ５番から９番、ピッチングまでの アイアンを使い、正確にグリーン を狙います。

ゴルフクラブの種類一覧	特徴
 ユーティリティ	ロングアイアンと同じ飛距離をより打ちやすくするためのクラブです。 ロングアイアンはシャフトが長く重いですがユーリティはヘッドが軽いため振りやすいです。 フェアウェイウッドとアイアンの間の距離を狙うために使います。
 ウェッジ	アプローチやバンカーで使います。 ピッチングよりシャフトが短くヘッドが重いので、小さなスイングをするのに向いています。
 パター	グリーン上でホールを狙うために使います。 他のクラブは距離を稼ぐために角度がついていますが、パターは転がすことに特化しているため、ほぼ直角に近い角度になっています。 グリーンでは、芝の保護のため、パター以外のクラブは利用禁止しているゴルフ場が多いです。

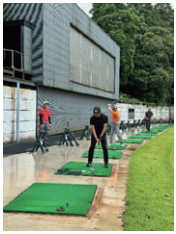
ゴルフ競技当日の動き

1. ゴルフ場への到着と受付

スタート時刻の約1時間前には受付を済ませる。

2. プレーの準備や練習

スタート前は練習グリーン、アプローチ練習場、ドライビングレンジで練習。



3. 指定の場所への集合

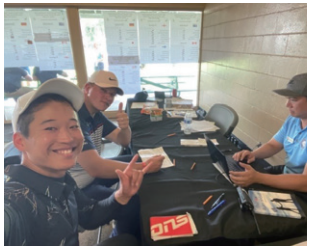
スタート10分前までにティーイングエリア付近に設置されているテント前に集合し、競技の説明、スコアカードをもらう。

4. プレースタート

スタートホールのみ組み合せ表の順番でティーショットを打つ。

5. アテスト

スコアに誤りがないかどうかをマーカー（スコアをつける同伴者）と確認し、マーカーと選手が署名をしたスコアカードを競技委員に提出。提出後、競技委員からOKが出るまではアテストエリアと呼ばれるエリアに留まる。



6. プレー終了後

プレー後は、着替え、清算、キャディバッグの引き取り、競技の成績発表などがある。

デフゴルフにおける手話言語通訳者の役割

通訳時の服装

・無地のポロシャツが好ましい。
（ゴルフ場によってはジャケット・革靴がマストの場合もある）

・屋外に長時間いることが多いので暑さ・寒さ対策をしっかり行う。

通訳時に注意すべきこと

・キャディー（ゴルフ選手をサポートする人）には口元を見えるようにマスクや日焼け・防寒カバーを外してもらうよう先に依頼する。

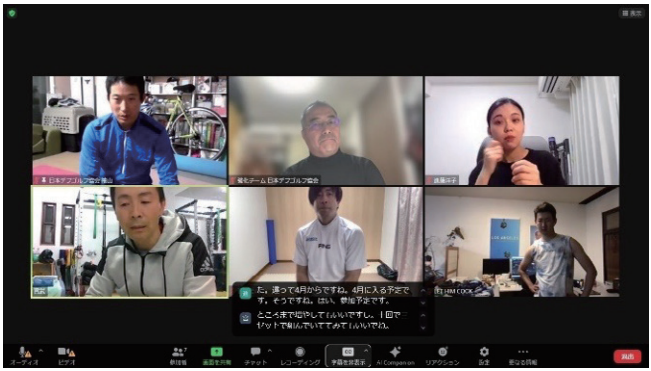
・キャディーにはラウンドで使用する頻度の高い「数字」の表現については空書きを依頼する。

・手話言語を使う選手もいれば、そうでもない選手もいるので、選手のコミュニケーション方法に合わせる。

通訳現場

1. オンライントレーニング

オンライントレーニングでは、トレーニング内容の説明や指示、トレーナーからの専門的な解説がある際に、手話言語通訳を行う。
また、トレーナーが身振りで直接説明する際は、選手がその動きを見ながらトレーニングを行うため、通訳を行わない場合もある。
選手が集中してトレーニングに取り組めるよう、その時その時の状況に合わせる。



2. 強化合宿

・ホテルやゴルフ場の予約時の電話通訳。
・空港、レンタカー、ホテル、ゴルフ場の受付での手話言語通訳。
・トレーニングやラウンド、練習時の手話言語通訳。

3. 国際大会（デフリンピック競技大会等）

・空港、レンタカー、ホテル、ゴルフ場の受付での通訳。
※音声英語から日本手話言語への通訳がメインとなる。
※各国の手話言語通訳者と連携して情報伝達に努める。

ゴルフ用語の手話表現

ゴルフ用語の解説と手話表現の動画

ゴルフ用語の解説は下記のリストにまとめています。
ゴルフ用語の手話表現の動画は右側のQRコードから閲覧できます。

名称	意味
OUT コース / IN コース	18ホールあるコースを9ホールずつに分けた呼び方。
フェアウェイ	芝が短く刈られたエリア。
ラフ	芝が長く伸びているエリア。
ティーショット	ティーイングエリアから打つ1打目のショット。
グリーン	ボールを入れるカップ（ホール）があるエリア。

名称	意味
OB	プレー禁止エリア。 アウトオブバウンズの略。
ワンペナルティ （略称：ワンペナ）	1打罰のこと。 プレーヤーの球がペナルティーエリア （黄色や赤色の杭で示された池や川など） に入った場合、1打罰が加算される。
フォアー	危険な打球を周りのプレーヤーに 知らせるかけ声。 ※キャディがいる場合は知らせてくれますが、 手話言語通訳者はプレーに帯同しないため、 周囲のきこえる方から「フォアー」の合図を受ける ケースが多い。
カップ	グリーン上にある穴のこと。 ここにボールが入ると1ホールが終了となる。
ピン	カップの位置の目印として、カップに 差し込まれている旗。

名称	意味
バンカー	コース上の窪地に砂を入れて作った 障害ゾーン。
ウォーターハザード （池）	コース内にある、水のある場所と その周辺エリア。
パー	ホールごとに設定されている、ボールを カップインさせるまでの基準打数。 Par3、Par4、Par5等と表す。 または、その基準打数で、カップイン できたこと。 「このホールはパーです」等という。
バーディー	ホールごとの基準打数よりも1打少なく カップインできたこと。
イーグル	ホールごとの基準打数よりも2打少なく カップインできたこと。

名称	意味
ボギー	ホールごとの基準打数よりも1打多くカップインしたこと。
ダブルボギー（略称：ダボ）	ホールごとの基準打数よりも2打多くカップインしたこと。
トリプルボギー（略称：トリ）	ホールごとの基準打数よりも3打多くカップインしたこと。
ホールインワン	ティーイングエリアから1打でボールをカップインできたこと。
アテスト	プレー終了後、選手のスコアをマーカー（スコアをつける同伴者）と確認し、スコアカードに記入して競技委員に提出すること。
暫定球	球がOBになったかもしれない場合、時間節約のため1打罰を加え、暫定的に別の球を直前のストロークを行った場所でプレーすること。

［組織］

特定非営利活動法人日本デフゴルフ協会

1997年に全国のゴルフ愛好家があつまり、任意団体日本デフゴルフ連盟として開始しました。その後、毎年「日本デフゴルフ選手権」を継続して開催すると同時に、世界デフゴルフ選手権にも第2回大会から日本選手を派遣してまいりました。このような中、2008年オーストラリアでの世界デフゴルフ選手権の際、米国・デンマークとの競合の末、2012年世界デフゴルフ選手権日本開催招致に成功しました。2009年秋にはNPO法人の認証を得て、特定非営利活動法人日本デフゴルフ協会として名称変更いたしました。

［参考文献］
公益財団法人日本デフゴルフ協会　https://www.jga.or.jp/
特定非営利活動法人日本デフゴルフ協会　https://jdga.or.jp/

［編集協力］
特定非営利活動法人日本デフゴルフ協会
https://jdga.or.jp/

このガイドブックは、令和６年度「障害者スポーツ推進プロジェクト（障害者スポーツの指導・普及等のためのマニュアル等の作成）」の一環で作成しました。

デフアスリートをささえる
競技別手話言語通訳ガイド［ゴルフ編］

発行日　2025年3月1日
発　行　一般財団法人全日本ろうあ連盟 スポーツ委員会
TEL：03-6302-1430
FAX：03-6302-1449
メール：jfd-sc@jfd.or.jp
URL：https://www.jfd.or.jp/sc/

デフスポーツにおける手話言語通訳者の育成等に係る検討委員会・専門部会 委員名簿

国立大学法人筑波技術大学 教授 … 大杉 豊
一般社団法人日本手話通訳士協会広報委員 … 立石 聡子
特定非営利活動法人日本デフゴルフ協会 … 袖山 由美
特定非営利活動法人日本デフゴルフ協会 … 進藤 洋子
全日本ろうあ連盟スポーツ委員会委員 … 稲葉 智子
全日本ろうあ連盟スポーツ委員会委員 … 森田 英昭
編集担当 … 高野 大輝